

平成25（2013）年川崎市10大ニュースについて

1 目的

一年を振り返り、市民の視点から市政や市全般にわたる動きがどのように捉えられているかを把握し、今後の市政運営の参考とするとともに、市の取組や魅力ある資源を発信することで市のイメージアップを図ることを目的としています。

2 10大ニュースの決定方法

平成25年に市内で発生した事柄について、あらかじめ選定した候補項目への投票募集を行い（自由記載も可）、得票数の多い順に1番から10番までを「平成25（2013）年川崎市10大ニュース」として決定しました。

3 投票募集実施期間

11月30日（土）～12月16日（月）（17日間）

4 投票状況

		※昨年
(1) 区役所、市民館、図書館等における投票	890人	(1, 223)
(2) ホームページでのインターネット投票	1, 244人	(1, 391)
合 計	2, 134人	(2, 614)

5 プレゼント

プレゼントの当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。（年明け以降順次発送予定）

6 その他

当該結果は、川崎市インターネットホームページに掲載

<添付資料>

資料 1 平成25（2013）年川崎市10大ニュースの概要

資料 2 過去5年間の川崎市10大ニュース上位3位について

【問い合わせ先】 総合企画局都市経営部企画調整課
電話 044-200-2025

平成25(2013)年川崎市10大ニュース投票結果

1位	武蔵小杉駅直結の再開発ビルに『市立中原図書館』や商業施設がオープン	989 票
2位	『福田新川崎市長』が誕生	928 票
3位	震災の影響でつり天井が脱落した『ミューザ川崎シンフォニーホール』が待望のリニューアルオープン	838 票
4位	『藤子・F・不二雄ミュージアム』の入館者数が100万人を突破	767 票
5位	国内最大級のパレード『カワサキハロウィン』に約11万人の観客	599 票
6位	JR川崎駅がさらに利用しやすくなる『北口自由通路』の工事に着手	594 票
7位	資源循環型社会の構築に向けて『家庭ごみの収集方法を変更』	469 票
8位	『川崎フロンターレ』がヤマザキナビスコカップでベスト4	459 票
9位	川崎と名古屋・大阪などの各都市を結ぶ『高速路線バス発着場』が川崎駅にオープン	405 票
10位	「川崎宿」の歴史や文化を学ぶ『東海道かわさき宿交流館』オープン、11月には来館者数1万人突破	399 票

(11位から20位までは、次のとおり)

11位	『川崎市制記念多摩川花火大会』に約28万人が訪れる	331 票
12位	『2013川崎国際多摩川マラソン』が開催、応募殺到で2日間で締切に	268 票
13位	中原区に小児の急な病気に対応する『中部小児急病センター』が開設	263 票
14位	失業等により生活にお困りの方の支援を行う『川崎市生活自立・仕事相談センター』を開設	229 票
15位	羽田空港に近い立地を生かし、『川崎市・大田区が産業分野の連携協定』を締結	213 票
16位	ヘヴィメタルでまちおこし、『MIYAMAE METAL CONNECTION2013』開催	200 票
16位	東芝の『スマートコミュニティセンター』が開所、川崎駅周辺では実証実験をスタート	200 票
18位	交通政策の戦略的な実施を目的に『川崎市総合都市交通計画』を策定	198 票
19位	川崎駅周辺の自転車対策として『自転車通行環境や時間利用駐輪場』を整備	197 票
20位	身体障害者や高齢者等だれもが快適に乗車できる『UDタクシー』に対応した乗場を川崎駅前に整備	195 票

平成25（2013）年川崎市10大ニュースの概要

1位 武蔵小杉駅直結の再開発ビルに『市立中原図書館』や商業施設がオープン

武蔵小杉駅直結の再開発ビルに、自動貸出機や自動予約棚など国内最高レベルの設備を備え、平日の開館時間が午後9時までと利便性の高い「市立中原図書館」と、商業施設（総菜店、菓子店、飲食店など98店舗が入居）がオープンしました。両施設とも数多くの方々が利用しており、大変好評を博しています。

2位 『福田新川崎市長』が誕生

3期12年にわたって川崎市長を務めた阿部市長の任期満了に伴う市長選挙が行われ、福田紀彦新市長が誕生しました。今後、4年間にわたり、福田新市長が約145万人の川崎市民の代表として、市政運営を担います。

3位 震災の影響でつり天井が脱落した『ミュージア川崎シンフォニーホール』が待望のリニューアルオープン

「音楽のまち・かわさき」を象徴するミュージア川崎シンフォニーホールが、東日本大震災の影響により脱落したつり天井などの修復を終え、リニューアルオープンしました。リニューアル記念式典には約1800人が参加し、約2年ぶりの「ミュージア」を堪能しました。

4位 『藤子・F・不二雄ミュージアム』の入館者数が100万人を突破

川崎市多摩区にある「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」の入館者数が100万人を突破し、オープンからおよそ2年での大台到達となりました。同ミュージアムは、「ドラえもん」などの名作漫画を生み出した藤子・F・不二雄さんの世界を楽しむ施設で、1日4回、各回500人の予約制となっています。

5位 国内最大級のパレード『カワサキハロウィン』に約11万人の観客

17回目となる「カワサキハロウィン」が開催され、10月27日にはメインイベントである国内最大級の仮装パレードが行われました。今年は、川崎駅前の大通りのパレードに約3,000人が参加、約11万人の観客が訪れました。

6位 JR川崎駅がさらに利用しやすくなる『北口自由通路』の工事に着手

JR川崎駅へのアクセス性の向上と東西自由通路の混雑緩和、駅東西の利便性・回遊性等の向上を図るため、川崎市とJR東日本では、北口自由通路と新たな改札口の整備に向けた工事に着手しました。工事完了は2017年度となる見込みです。

7位 資源循環型社会の構築に向けて『家庭ごみの収集方法を変更』

資源循環型社会の構築に向けて、ごみの減量化・資源化の促進や環境負荷の低減を図るため、プラスチック製容器包装の分別収集を全市に拡大するとともに、普通ごみの収集回数を週3回から週2回に変更しました。この変更により、年間焼却ごみ量を37万トンに削減し、今後、焼却場の稼働を一つ減らすことで、年間3万6千トンのCO₂排出削減など大きな効果につながる見込みです。

8位 『川崎フロンターレ』がヤマザキビスコカップでベスト4

Jリーグのヤマザキビスコカップで4年ぶりの決勝進出を目指した「川崎フロンターレ」は惜しくもベスト4で敗退しました。準決勝第1戦は勝利したものの、第2戦で敗れ、アウェイゴール数により、決勝進出を逃しました。

9位 川崎と名古屋・大阪などの各都市を結ぶ『高速路線バス発着場』が川崎駅にオープン

川崎市は、JR川崎駅東口「ラ チッタデッラ」前に、川崎と名古屋・大阪・金沢・盛岡などの各都市を結ぶ高速路線バスの発着場を整備しました。安全で、わかりやすい高速路線バスの運行により、8月には乗降客数が1万人を超えるなど、市民の利便性向上と観光客増加の取組を進めています。

10位 「川崎宿」の歴史や文化を学ぶ『東海道かわさき宿交流館』オープン、11月には来館者数1万人突破

川崎区本町に、江戸時代に東海道の宿場として栄えた「川崎宿」の歴史や文化を学ぶ施設である「東海道かわさき宿交流館」が10月1日にオープンし、11月には来館者数が1万人を突破しました。同館では、映像や模型などさまざまな手法を駆使して江戸時代の川崎宿の様子や、江戸時代から現代につながる川崎の歴史・文化を紹介しています。

過去5年間の川崎市10大ニュース上位3位について

- ◇ 平成24（2012）年 総投票者数 2,614人
- 1 ドラえもん誕生前100年、藤子・F・不二雄ミュージアム開館1周年で特別住民票発行、1週間で9万ダウンロード
 - 2 最新鋭のプラネタリアムを導入した『かわさき宙（そら）と緑の科学館』がオープン
 - 3 夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダに待望の赤ちゃん誕生
- ◇ 平成23（2011）年 総投票者数 1,878人
- 1 『ドラえもん』などの原画を展示する『藤子・F・不二雄ミュージアム』が開館
 - 2 3月11日、東日本大震災発生、交通機関の乱れや計画停電など市内でも大きな影響
 - 3 東日本大震災により『ミューザ川崎シンフォニーホール』に被害
- ◇ 平成22（2010）年 総投票者数 2,084人
- 1 JR横須賀線武蔵小杉駅が開業
 - 2 東扇島東公園「かわさきの浜」で潮干狩りが解禁
 - 3 バーベキュー利用有料化の社会実験を実施
- ◇ 平成21（2009）年 総投票者数 1,518人
- 1 川崎フロンターレ ナビスコカップ準優勝
～J1リーグでも優勝争い
 - 2 新型インフルエンザ 市内小中学校で休校相次ぐ
 - 3 川崎市長選挙 阿部孝夫市長が3選
- ◇ 平成20（2008）年 総投票者数 1,028人
- 1 女性初のプロ野球選手誕生へ ～川崎北高校 吉田えりさん
関西独立リーグへ
 - 2 約50年ぶりに砂浜が復活 「東扇島公園」オープン
～市内初のトライアスロン大会も開催
 - 3 「川崎フロンターレ」健闘 シーズン終盤まで優勝争い